

令和5年度 佐久市総合計画審議会第2部会（第2回） 議事録

日時：令和5年7月28日（金）

午前10時～11時30分

場所：佐久市役所501会議室

【出席者】阿部部会長、原委員、竹重委員、檜山委員、矢羽田委員、山崎委員、小出委員

【事務局】木内企画課長、安井企画調整係長、小林（誠）主任、小林（拓）主任

○協議事項等

次第

1 開会

- ・部会長挨拶
- ・欠席委員報告（高橋委員、小泉委員、田村委員）

2 議事

（1）第二次佐久市総合計画後期基本計画の進行管理について

質疑、意見

事務局	<p>第2部会では、「第二次佐久市総合計画後期基本計画」の第2章の都市基盤分野、第3章の経済・産業分野について審議を行い、本日は第2章についてご審議いただく。</p> <p>【第二次総合計画後期基本計画 令和4年度（2022年度）進行管理報告書】</p> <p>うち、「第2章 地域の特徴を生かしたつながりあるまちづくり」</p> <p>「土地利用」（19ページ）について説明</p>
部会長	<p>今後の方針に記載された具体的な内容が課題を解決するための方策だと思う。より具体的にどういう方向に持っていくかが求められる。今後の方針がはっきりしないと課題が解決しないし、地域間競争が始まっているので、この部分が重要だと思うがどうか。</p> <p>青年会議所はこれからを担う若者であるがどうか。</p>
委員	<p>佐久平駅前には人口が集約され、移住者も多い環境になっている。そういった所に、今後、スポンジ化という課題があるという</p>

	<p>ことが記載されているが、密度が薄くなってしまっている所と一方が高くなってしまっている所があることに対する対策はこの中に課題として挙げられているのか。</p>
事務局	<p>佐久平駅周辺に人口が集まり、旧商店街の岩村田や野沢は逆に人が外へ出てしまっていて、スポンジ化が進んでいる。これらは、大きな課題として挙げており、都市計画課を中心に取組んでいく必要があるものとして捉えている。</p>
委員	<p>課題の中で、都市のスポンジ化への対応とあり、マスタープランの中で対応するとのことだが、佐久平駅周辺を開発するといったことをしてきたのは、今までの佐久市であり、その結果、他の地域がスポンジ化している。これまでそのようにしてきたのに、課題となってしまったというのは違うのではないか。</p> <p>人口が増えた後に佐久平浅間小学校を大きく造るとかではなく、浅間中学校も最初から対策をしておけばよかったのではと思う。マスタープランが失敗したからそうなったのではないか。</p>
事務局	<p>佐久平周辺については人口推計をしたうえで、今の規模の小学校、中学校を建てたのだが、想定外に人口が増加してしまった。佐久平浅間小や浅間中学校もこのままだとパンクしてしまう状況の中で、数十年先を見据えた対策を待たないで関係課が考えている。今後、どのような小・中学校としていったらよいかといったものを所管部署が考えているので、示せる段階になったらお示ししたい。</p>
委員	<p>佐久平駅周辺にあれだけの商業施設を造ればどうなるかは、あらかじめ分かっていたことだと思う。今更このようになってしまったというのはおかしい。今後としては、これまでの反省を活かして、しっかりとしたマスタープランをもう一度練り直して作るべきだと思う。</p>
事務局	<p>検討させていただく。</p>
部会長	<p>国交省はこれまでを色々反省をしている。20年、30年前に各地でバイパスができた時、郊外に商業施設や病院が移転をして、</p>

委員	<p>住宅地ができ、結果的に中心部はスポンジ化現象が起きてしまった。商店街は15年、20年前は1世帯5人から8人住んでいたが、現在は高齢者が1人から2人住んでいるのみで、家はあるが皆郊外に出て行ってしまった。</p> <p>国交省はどうしてきたかという、これまで右回りの開発をしてきた。これはアメリカ型の開発であり、市街地から放射線状のように開発をしてきた。人口増の時は良かったが、人口減になり少子高齢化になってくると、ヨーロッパ型の左回りに直さなければならなくなった。ヨーロッパ型とは、各地の小さな街に大聖堂や教会があり、人々はコンパクトで豊かに暮らしている。それに戻さなければいけないという中で、中心市街地をコンパクト化して行政コストを抑えながら、もう一度それぞれの役割に機能を持たせ、集中型ではなく分散型にしていこうと国交省は各自治体に促している。</p> <p>地方創生においても、一丁目一番地の待ったなしの政策であり、左回りに戻していくのか、そのまま推し進めるマスタープランとするのか、佐久市が今後どうしていくべきなのかについて、意見を申し上げるのがこの総合計画審議会だと思う。ドラステックに変えていくために、皆さんの意見を集約してマスタープラン等に反映していくことが必要である。</p> <p>今後の佐久市はものすごく大変になっていくと思う。下水道にしても、50年も経過している中で、更新に対応できるのは税金だけである。このようなことを考えながら責任と役割と使命を持ってここに座らせていただいているので、このような考えで進めていただきたい。</p> <p>コンパクトシティの話が出たが、エネルギーや交通の問題も含めて生活圏をある程度コンパクトにしていけないといけない時期にある。これからは、人口減少社会になり、今までのような右肩上がりの経済ではなくなるので、根本的な生活圏の有り方を考えていく必要があると思う。</p> <p>佐久平駅周辺は、物凄い勢いで開発されたが、これは計画の範囲内だと思うので、これからは、その次をきちんと考えなくてはいけない。今は一定の開発に目途がたっているかと思うので、次をどうするのかについて市民の皆さんと考えていく段階ではないか。佐久平駅周辺も20年後は、ひとつの世代が変わってガラ</p>
----	--

	<p>ッと変わってしまうと思うので、そういうことも踏まえたまちづくりを考えていただきたい。</p> <p>もう一つは、望月はどんどん人口が減少していて、小学校の子どもの人数が合併後から半分くらいに減っている。産業が無く仕事もないので人口が減っていると聞いたが、豊かな自然や農業がある良いエリアなので、そのような資源も考え周辺部も含め、佐久エリア全体のマスタープランを創っていただきたい。</p>
委員	<p>マスタープランをよく知らないのですが、このような資料を見ているだけだと、佐久市はどこを目指しているのかイメージが出てこない。部会長が前回の会議でビジョンが見えないと言っていたが、具体的な提案として、市民が見えるようにこんなまちづくりをしたいといったものを漫画にしてはどうか。市民がイメージを持ってないことが欠点なので、皆が理解して共通してそこを目指すことができるのが良いのではないかと。そして、市内外に漫画を置き、佐久市はいいね、と理解できるような資料を作ったらどうか。</p>
事務局	<p>良いご意見だと思う。ホームページなどに計画を掲載しているが、見る方は少ないので漫画や動画などで知ってもらう機会があれば、よりまちづくりということに関心が沸いて伝わりやすいのかと思う。ご意見として所管課へ伝えたい。</p>
委員	<p>見える化についていえば、例えば建物を建てる際にどんなものがよいか素人では設計書を見てもわからないが、プロは設計書を見ればわかる。佐久市のまちづくりも同じことだと思う。行政も社会向けのストーリーを作ることが必要であり、こうしたらこうなるといったものを見える化して、納得してもらえればよいと思う。そういったところを、行政としてお膳立てしてほしい。</p> <p>また、もう少し市民に分かり易いビジョンをつくり、各課が横の繋がりを持ち、具体的なストーリーを市民に訴えられればよいと思う。</p>
委員	<p>この「土地利用」の施策の中には、産業分野のことは含まれているのか。工業や物流に関して、佐久市はかなりニーズが高い地域だと思う。佐久市内には、今ある工場をさらに生産性を高めるために場所を移して大きくしたいと考えている方がたくさんい</p>

事務局	<p>る。現在、佐久市で活躍されている工業系の方の中には、これまでの工業団地では手狭で、もう少し整備されたものが欲しいという希望を持っている方が結構いる。</p> <p>次回の会議で第3章「経済」分野をご審議いただく予定ですが、「土地利用」の施策ということだと、この場でご意見をいただければ承る。</p>
委員	<p>ここは観光のブロック、ここは住まいのブロックなど、土地をブロック化するかどうかは別として、しっかりとした広いものはあってもいいと思う。</p>
事務局	<p>臼田地区で工業団地を造り企業誘致をしたが、人手不足により地域で人材を取合いになってしまうことが課題となっている。工業団地をさらに造って企業を設置するのもいいが、どういうやり方が良いか検討していきたい。</p>
委員	<p>人材不足のことは承知している中での意見である。人材不足の中で生産性を高めるために自動化をすといっても、今ある箱でどこまでできるかという、手狭でそれが成し得ないケースがある。人が減少していくのは当然のことであり、その課題を踏まえ、企業は永続的な企業活動を考えているので、フィールドを用意することは行政の役割だと思う。</p>
委員	<p>人手不足は今後、少子化がさらに進むことから、解決できないと思うので、自動化を進めるために地元企業への支援に力を入れて、増えない人口をどう増やしていこうといった議論ではなく、違う方向へ向かうような検討をしていただきたい。</p>
部会長	<p>今の意見は重要なことだと思う。事業を10人でやろうと思っても人がいない場合はどうするかというと3人でできるように考えることになる。また、例えば、市役所庁舎の場合も、手狭で建直しが難しい場合は違うエリアにしっかりとした設備を整えることを考えることになるかと思う。官民連携により、生産性を上げて、佐久市内で稼げることになれば、非常にローカルでお金が落ちる形になってくる。</p>

委員	<p>佐久平駅前をどんどん開発しても、群馬資本が多いから、売り上げは佐久市に落ちない。</p> <p>このようなことを考えていかななくてはいけない時期になってきてしまっている。</p> <p>以前、三浦市長が区民向けの講話で話したことの中で、佐久インターができたことについて、「皆さん申し訳ない。」「群馬村ができてしまった。」と言ったことがあった。佐久平駅前は群馬資本の起業が多く出店しており、今また同じようなことが起こっている。長野県内の企業が出店すればいいが、群馬資本となると全てが別へいってしまう。結果、近代化はされたが、地元企業を上手く活用したり、分散した出店を促すなどしてほしい。できてしまったものは仕方がないが市民から見たら、こういった考えがあるということを知りたい。</p>
委員	<p>地域の特徴を活かしたまちづくりは、地域の人が置き去りになってはいけない。スーパーのようなところではなく、顔と顔を合わせて会話をしながら買い物ができることはいいと思うので、岩村田商店街などを活かしていければいいと思う。</p> <p>農業については、自給率を上げたり、ある程度の支援をして農家の方を活かしていくことや機械化を進めていけるようになればいいと思う。</p> <p>また、どこに行くにも車がないと移動ができないし、歳をとってくると自分の足でしか買い物に行くことができないので、何十年か先を見越して考えていってもいいのではないかと思う。松本についても、もっと行き来が簡単にできたらいいと思うし、そうすれば人手不足が解消できる。例えば地下鉄を通すとか長い目で見ることや、車を使わずに電車を使っていけたらCO2の排出も減少する。アクセスの方法も考えながら街づくりをしてほしい。高齢になればなるほど外に出やすい環境をつくるまちづくりを考えていった方がいいと思う。</p>
事務局	<p>地域公共交通が課題になっている中で、4月からデマンドタクシーでなるべく移動が楽になるような形で取組んでおり、高齢者の足といったものを十分考えて対応していかなければいけないと思う。</p>

<p>部会長</p>	<p>マスタープランがそういった方向にいつているかということが重要である。一極集中型ではなく、エリアごとに歩いて買い物ができる歩いて暮らせる街が分散してあるというのが、これからの転換期のまちづくりと言われている。</p> <p>佐久平駅前的大型店へは、99.9%の人が車を利用して行っており、歩いている人はほとんどいないので、カーボンニュートラルやCO₂排出のエネルギー問題になってしまう。</p> <p>ドイツでは歩いていくとどのくらいCO₂が減るか研究されている人もいるし、土日は郊外に車を停めて歩いて旧市街地に行くなどして買い物をしており、人との繋がりを持ちコミュニケーションをとるといった方向に向かっている。どうしてもアメリカ型は、車を使って郊外へ買い物に行くといった形になっている。その形は、今の時代としては逆行しているとはわかってはいるのだが、便利であったり、店舗を誘致するステータスがあるのでその方向になっている。</p> <p>将来的に私たちも、運転ができなくなったらどうするのか考え、どういう形にしておくべきなのかと考える転換期にある。佐久平駅前もずっと持続可能かといったらそうではない。全国どこを見ても25年続いているショッピングモールは数えるほどしかなく、だいたい物流センターか廃墟になっている。そのような状況に周りになっていることが分かっているのであれば、佐久市はどの方向に行くのかを考えなくてはならない。野沢商店街は経営している店はほとんどなく、これは急速に加速した。</p> <p>このような意見が佐久市のこれからの決定付ける重要なものとなる。市が考えていることと、地域の特徴にギャップがあると全く違う方向になってしまうので、地域の特徴を活かすこと、特徴とは何かというところからしっかり掴む必要があると思う。</p>
<p>委員</p>	<p>例として20年続いたショッピングモールがあったが、20年が終わって次は別の店となるところがある。佐久平駅前も今後そうなる可能性が無きにしもあらずで、今の発展を喜ぶ人もいれば、心配している人も多数いると思う。</p> <p>また、野沢地区は文教地区にしていくということで、住みやすい街にしていだけるなら、例えばカラマツを使った木造の市営住宅や高層マンションなどを作っていだけるとありがたい。出</p>

	<p>光では木造のガソリンスタンドが造られている。</p> <p>「市街地」(21 ページ) について説明</p>
部会長	<p>佐久平駅南土地区画整理が反映された吸引力指数は出ているのか。</p>
事務局	<p>今まで通り、長野県内でトップに変わりはないが、すごく上がっているといった感じではない。佐久平駅南を反映させた指数は、もうしばらくかかるかと思う。</p>
委員	<p>老朽化したインフラに関連して、水道や通信設備を共同溝にする無電柱化をなるべく努力して進めていただきたい。景観面もそうであるが、長く維持することやメンテナンスのしやすさがある。お金はかかることであり、実施主体が電力会社になるなど調整は大変であるが、ぜひ、進めていただきたい。</p>
事務局	<p>市長が全国は無電柱化の会の市区町村会長であり、推進している。佐久平駅南地区については、無電柱化の整備をしたが、既存の電柱等を整備していくことは、予算の関係やメンテナンス費が膨大になることから非常に難しい。担当部署は無電柱化を進めていくということを当然承知しているが、このような意見があったということでお伝えする。</p>
委員	<p>先日、観光協会のある委員と話をする中で、自転車の移動といったものをもう少し佐久市に取り入れたいといった発言があった。残念ながら佐久市においては、危なくて自転車に乗れるような道路状況にない。長野県の中でも遅れているのではないかと思う。松本市等では自転車が通行できるルートが色分けされるなどしているが、佐久市は歩道を走っているような状況である。佐久市はロードサイドの店へ車で行くことが中心となっており、このようなインフラを変えていくことは相当時間がかかると思う。これからでもよいので、車中心ではなく、自転車、歩行による移動等を計画に盛り込むよう検討いただきたい。</p>
事務局	<p>環境に負荷をかけないという視点からも、自転車や歩行といっ</p>

	たものは重要になってくるので、ご意見として担当部署にお伝えする。
委員	極端に言えば、市役所職員は自転車通勤にする、市長が自転車を通うとすれば、自動車に乗らないまちとしてアピールできると思う。
事務局	市役所では、年に1回、自転車や乗り合い、公共交通機関等を使って出勤するという1週間の期間を設けて、少しずつ浸透させようとしている。厳しい問題ではあるが、当然、そのような社会にしていかななくてはならないと思う。
委員	市役所の前の道を自転車専用道路にする等、これくらいの極端なことをやれば、逆に佐久市に住民が増えてくるかもしれない。
委員	自転車と歩行者の区別はしっかり対策してほしい。歩行者にとって、自転車は本当に怖い。デンマークでは、自転車道路が凸凹しており、歩行者は逆にそこを歩くことができないなどの対策をしている。佐久市でも何か対策をお願いしたい。
部会長	課題に「拡散型の都市構造から、集約型の都市構造への転換が求められている」とあるが、誰が言っているのか。
事務局	佐久平駅周辺は別として、野沢や中込、臼田等の各拠点地区に都市機能をゆるやかに集約して、機能集約、ネットワーク型の都市としていくといったものが、佐久市が目指しているものである。
部会長	佐久平駅周辺への集約が進みすぎて、前の市街地は生態系が壊れてしまった。買い物に行きたくても店がないといったところがどんどん増えている。いちばんの稼ぎ頭の息子が、父親、母親を乗せて佐久平駅前へ買い物に連れて行っているという状況になってしまった。 そういったことを「左回り」に変えてもらい、拠点となる各地区にきちんと支援してもらわないと、とてもではないが民だけではやっていけない。アーケードひとつ壊すこともできない。そう

	<p>なると廃業になってしまう。</p> <p>カーボンニュートラルの考えにより、市街地をこうしていくと いったように持っていった方が賢いかと思う。</p> <p style="text-align: center;">「公共施設」(22 ページ) について説明</p> <p>委員 公民館や文化会館が各地にたくさんあるが、管理がとても大変 ではないかと思う。知人の話しで、この前も壊れた箇所が修理さ れてないため、使用できないところがあったりするので、少し集 約したほうがいいのではないか。また、アクセスが悪く行けない 所もある。コロナ禍で人の気持ちは変化しており、今は外に出た いとか何かやりたいといった気持ちがあるかと思う。佐久市はた くさんの人を呼べる観光資源がないような気がするので、多くの 人を呼び込むような資源をつくり、お金を落としてもらおうとい ったことを考えていくことも大事だと思っている。</p> <p>事務局 コロナ禍で市内のイベント関係が自粛状態であったが、5 類に 移行したことから、県立武道館等も徐々にコンサートやイベント の開催が増えると思われる。また、2 年後には 1,500 人規模の全 国中学校柔道大会も計画されており、参加者が宿泊することでお 金を落としてもらえるので、地域の活性化に繋がる。また、国体 についても、軟式野球、アーチェリー、柔道が令和 10 年に予定 されている。</p> <p>委員 文化会館でのコンサートなど人気があるので、市民が満足でき るようなまちづくりをしていってもらいたい。</p> <p>委員 公共施設について、令和 8 年に中央図書館が建替えられるとい うことで、昨年、そのワーキンググループに参加した。その中で、 私は図書館の今の場所は、岩村田方面から近いので便利かと思っ ていたのだが、佐久平駅周辺のマンションに住んでいる方の意見 に、どうしてあんな交通の便が悪い所に図書館を造ったのかとい うものがあった。このワーキンググループは、あくまでも立地場 所は駒場公園内としていて、どういう建物にしたいのかを話し合 うということが大前提だったが、佐久平駅周辺なら買い物ついで に図書館に寄って行けるが、マンション住まいの方は車がない方</p>
--	--

	<p>がおり、その場合はどうやって行くのか、本機能の図書館は駒場公園に残したまま、例えばサテライトとして、イオンの中の空きスペースなどで貸し借りをできるようにすることや、ネットワークで本の検索ができることからそれも活用したらどうかといった意見があった。また、住んでいる方の年齢、車があるか、乗れなくなった場合はどうなるのかという話にもなった。</p> <p>野沢は完結型の街で、小学校が真ん中にあり、その周りにスーパーがあったり、個人開業医も多く病院が選びやすい。佐久市は病院を選ぶことができることがすごい。昔、丸子地区の方から、病院へ行くのにバスや電車を乗り換え、かなりの時間がかかると聞いたことがある。佐久市内では望月地区や内山地区がそうやってきている。</p> <p>また、県立武道館や創錬センター、野球場などを、なぜそれぞれの場所に造ってしまったのか疑問に思う。同じ場所で真ん中に大きな駐車場を造れば、全ての施設がそこを使うことができる。アクセスと駐車場はセットになっていることが必要だと思う。</p> <p>このようなことは佐久市の持病のようなものであり、様々な方面から要望が出て、各地に施設を造っている。佐久市は合併して範囲が広いためなかなかまとまらないとは思いますが、佐久平駅前のようにまとめると逆に周辺部から反対が出てしまうので難しい問題である。</p> <p>また、市民を巻き込んでワイワイガヤガヤやるミーティングも必要であり、今後を見据えた市のやり方といったものを知ってもらうことによって、市民に納得してもらえ、文句も出てこなくなると思う。要望があって、それに対応しているろんなところにばら撒き文句を言わせないといったやり方は駄目である。会社経営もそうだが、施策は絞ってやるべき。大勢の市民が参加してのミーティングをやれば、話題性もあるかと思う。</p>
部会長	PPPやPFIについて、佐久市は全くやっていないのでは。
事務局	新クリーンセンターは、PFIを活用した。
部会長	PPPとPFIは、日本中で現在盛んに行われている。これをやるかやらないかは職員の能力で差が出ることであり、取組んでいるところは、公園や陸上競技場などを造り収益まで上げてい

<p>委員</p>	<p>る。これを使わない手はない。地元の民間業者を活用するのでまさにローカルファーストである。公共施設は今後まとめた方がよいなど意見があると思うが、こういったことを民間主導で取組んでいったほうがよい。国土交通省もどんどん進めている。</p> <p>私もそう思う。その中で、佐久市は悪い部分だけではなく、資源に良い部分がいっぱいあるが、陸上競技場などの活用が連携できておらずバラバラである。それを上手く連携し、ビジョンと戦略をつくってやっていけばすごく良くなっていくと思う。</p> <p>観光資源も良いものがたくさんあるが、どうして全く別になってしまっているのか。観光もそれぞれがやっていて、佐久市の何の為にやっているのかといったものが、あまりないような気がする。例えば、バルーンフェスティバルは物凄い観光資源であり、35万人集めるといったことは凄いことである。ただ、これをイベントだけで留めるのではなく、それによって定住人口を増やしていくなど有機的な戦略を考えていただきたい。</p> <p>それと、旧中込学校や旧大沢小学校など良い建物がある中で、例えば、旧中込学校にスターバックスを入れると物凄い観光資源となる。また、旧大沢小学校でレストランや給食を出すなどして、資源を活用できるのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>重要文化財は、少し修繕するだけでも厳密な計画書を出した上で認められて修繕することになる。そこに民間が入り飲食店を出すとなると相当ハードルは高いが、そういった発想も大切だと思うので、文化振興課に繋げる。</p>
<p>委員</p>	<p>観光協会は観光協会だけといったものではなく、もう少し有機的に連携をとり、戦略として佐久市をどういうふうにしていったらよいか、地域間競争に勝つためにどうしたらよいかと考えていけば、素晴らしい佐久市になると思う。</p>
<p>部会長</p>	<p>「住宅」(23 ページ) について説明</p> <p>空き家問題はこれから急速に加速する。対策をとっておかなければいけないが、なかなか行政が入り込めない。地権者もわからなくなってしまうと結構な問題になる。建物の耐用年数が決まっ</p>

委員	<p>ているので高度成長期に建てた建物が商店街もそうだが、朽ち果てていく。突っ込んだ対策を取っておく必要がある。</p> <p>一方で、移住したい人に対して、家がないといった問題もある。空き家を上手く繋ぐことができればよいが。</p>
部会長	<p>移住したいが、提供する家がない。不動産業者だけで解決できることではないし、地権者も他人に貸したくないなどの理由により、提供できなかつたりする。希望する人とのマッチングについても、誰かがやってくれると思っているだけである。</p>
事務局	<p>移住交流推進課でも空き家バンクに力を入れているが、なかなか求める側と提供する側のマッチングが難しい状況にある。</p>
委員	<p>建築価格がかなり高騰しているので、中古物件を探している人は多くいると思う。</p>
部会長	<p>不動産屋へ行っても、中古物件は1件もないようである。望月地区なんかは非常に良い土地だとは思うが。</p>
<p>「高速交通ネットワーク」(24 ページ) について説明</p>	
委員	<p>7月19日に国土交通省から、中部横断自動車道のルート案が示された。いつになるかはこれからだが、今後、都市計画の原案を作成し住民に説明していくこととなる。この開通を工業や流通にどう活かしていくかが、すごく大事になってくる。中部横断自動車道開通は進んでいくことであるから、そこを見据えて、計画を作っていく必要がある。臼田地区の工業団地も変わってくるかと思う。</p>
部会長	<p>入ってくる理由を作らないと出て行ってしまう。そのベース作りをしっかりとやっていかななくてはならないと思う。</p>
委員	<p>佐久市を素通りせずに留まってくれるような道路にしていく必要がある。</p>

部会長	<p>まさしく地域間競争である。</p> <p>「地域交通ネットワーク」(25 ページ) について説明</p>
委員	<p>行政に係る話ではないが、民間のタクシーや代行を頼んでも来ない時間がある状況が散見される。経常的に来ないというのは、サービス業や観光業に非常に影響がある。デマンドワゴンの運行を行っているということで、行政としては対応しているが、それ以外の現状も把握し、対応を検討してほしい。</p>
事務局	<p>コロナ禍の影響により、タクシー、代行業界では人手不足がかなり進んでしまったが、コロナが5類になったことから、宴会等が増え利用者が増加し始めており、今はちょうどその狭間にあるのかと思う。実は、デマンドワゴンの運行はタクシー会社へ委託しているのだが、そこでもドライバーの人手が不足していることが問題となっている。</p> <p>せっかく佐久市に観光に来て、タクシーが捕まらないとなると、印象を悪くして帰ってしまう。こういったことも課題である。</p>
委員	<p>小海線の運行を充実するよう、JRと交渉してほしい。1時間に1本しか来ないような状況であるが、15分に1本など、アクセスを良くして待たずに乗れるよう工夫すれば、通勤でも使えるようになる。車社会ではなく、小海線を残すような取り組みをお願いしたい。</p>
事務局	<p>バスに続き、小海線をどうしていくかといったことが大きな課題となっている。県内でも大糸線を始め、収支が悪い路線は廃止していく、といったプレッシャーがある中で、民間を含め、利用者を増やして、どう小海線を残していくかといったことが近々の課題となっている。協議会等を通じてなんとかしていかなくてはならないことと考えている。</p>
委員	<p>県でも課題として捉えており、日常の通勤で使ってもらえるのか、観光で使ってもらえるのか等、様々なことを含めて検討していく。</p>

<p>部会長</p>	<p>最寄りの駅に駐車場をつくり、車で来て、そこから鉄道に乗って通勤するといった取組みを行っているところもある。中心部に駐車場を造るとなるとお金がかかるので、企業としてもよい。</p> <p>それと、バスとデマンドタクシーに対する経費への補助金は、このような形で続けていくと、すぐなくなってしまうと思う。そこを見据えて根本的なネットワークを変えていかななくてはならない時期にある。</p> <p>そこを見据えたところとして、盛岡市で面白いバス会社がある。一番いけないのは、バスが全部のバス停に停まることである。人のいないバス停は停まらないようにすれば、すぐに来ることができる。それを実践したバス会社である。</p> <p>役柄的にどうしても総花的な審議になってはしまうが、総合計画審議会は、これからの佐久市を決定づける重要な会議である。今後、切っても切れないものが人口減少と高齢化社会であり、経済はマイナス成長していく。また、教育、福祉、医療はまったなしでお金を使うことになり、これを経営的にみると税金という売上げを確保していかななくてはならない。佐久平駅前開発により固定資産税を確保することはやっているが、ずっと続くものでもない。税金をいかに確保するのかといった政策を盛り込み、佐久市を経営するといった感覚でいく必要がある。総合計画には、そういったことをしっかり盛り込み、塩漬けのような計画ではなく、一味違った、尖がったような計画になるよう期待する。</p>
------------	--

(2) その他
特になし

3 閉会